

◇ 教員免許更新講習シラバス(必修領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態		
教育の最新事情		全教員	6H	講義・演習		
日程	定員	講師名(所属・職名等)				
平成30年7月1日(日)	310人	前田 康二(奈良教育大学・准教授) 小柳 和喜雄(奈良教育大学・教授) 山本 敏久(下田小学校・校長) 池島 徳大(兵庫教育大学大学院・特任教授)				
会場						
奈良教育大学						
【小テーマ①】	項目	国の教育政策や世界の教育の動向		(担当講師:前田 康二)		
	内容	○国の教育政策 ○世界の教育の動向				
講習形態	講義形式・演習形式					
講習内容	国際学力調査などの統計や資料を参考に、日本の教育改革について、世界の教育の動向を踏まえながら客観的に理解する。さらに各種の報道や資料から、学校を取り巻く状況の変化を読み取り、分析、考察を行う。					
到達目標・確認指標	学校を巡る近年の様々な状況変化について、客観的かつ具体的に理解している。各種報道、世論調査、統計の動向等を分析・理解し、説明することができるか。					
キーワード	教育改革、中央教育審議会、PISA、育成すべき資質・能力					
【小テーマ②】	項目	教員としての子ども観、教育観等についての省察		(担当講師:小柳 和喜雄)		
	内容	○子ども観、教育観等についての省察 ○教育的愛情、倫理観、遵法精神その他教員に対する社会的要望の強い事柄				
講習形態	講義形式・演習形式					
講習内容	本講習では、変わるメディアと生活環境の変化の中で、社会的な要望も強い子どもたちは何を経験しているのかに目を向ける。そして新しい時代に必要となる資質・能力といわれる21世紀型能力などは、どのような教育環境の下で培うことが可能となるのかに目を向ける。その上で、実際に自分たちの接触している子どもたちの様子をあらためて問い、ペアワークを通じて、就学前から高等学校までの子どもたちの姿(自分たちの子ども観)について意見交換を行う。これら、研究成果として言われていることと、自分たちが感じていることを重ねて俯瞰し、自分の子ども理解を就学前から高校卒業まで通して考え、磨く機会を持つ。					
到達目標・確認指標	教員に国民が何を期待しているか、理解している。各自の現状を自ら分析し、自らが向かうべき方向を明確に意識し、説明できるか。					
キーワード	子ども理解、情報活用能力、生活環境の変化、学校生活、家庭生活、教育観、職能成長					
備考	限られた時間ですが、ペアワークで、異なる校種で意見交換を行う機会を持ちます。					
【小テーマ③】	項目	子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む。)		(担当講師:山本 敏久)		
	内容	○子どもの発達に関する、脳科学、心理学等の最新知見に基づく内容 ○特別支援教育に関する新たな課題(LD、ADHD等)				
講習形態	講義形式					
講習内容	特別でない特別支援教育の在り方について考えたい。そのために、発達障害等の基本的な理解、これまでの特別支援教育の変遷、福祉等関係機関との連携の在り方などの基本的事項を紹介するとともに、最新の学習指導要領を読み解く。特別な教育課程を必要とする児童生徒だけでなく、様々な困難さのある幼児児童生徒への「適切な指導」と「必要な支援」について具体的事例を交えて紹介する。併せて、学校卒業後を見通した就学指導・相談支援の在り方を考える。					
到達目標・確認指標	子どもの発達に関する最新の科学的知見の概要を理解している。LD、ADHDはじめ特別支援教育に関するものも含め、子どもの発達に関する最近の科学的な課題を理解し、説明できるか。					
キーワード	インクルーシブ教育システム、発達障害、合理的配慮、ICF					
備考	受講の機会に、改訂された学習指導要領等を改めて精読してみましょう。					
【小テーマ④】	項目	子どもの生活の変化を踏まえた課題		(担当講師:池島 徳大)		
	内容	○居場所づくりを意識した集団形成 ○多様化に応じた学級づくりと学級担任の役割 ○生活習慣の変化を踏まえた生徒指導 ○カウンセリングマインドの必要性				
講習形態	講義形式・演習形式					
講習内容	学校生活の中で生起するいじめなどのもめごと問題への対応について、ピア・サポート及びピア・メディエーションによる具体的な解決策を提示し、その有用性について講義・演習を行う。また、いじめなどによる人間関係の修復の在り方について、修復的正義(リストラティブ・ジャスティス)の考え方を紹介し、如何にして子どもたちの共同性意識を育むかについても、講義を行う予定である。					
到達目標・確認指標	子どもの生活の変化を踏まえた指導の在り方を理解している。子どもの生活の変化を踏まえた、具体的な指導上の課題及び対処方法を理解し、説明できるか。					
キーワード	いじめ、もめごと、ピア・サポート、ピア・メディエーション、社会的責任能力、修復的正義(リストラティブ・ジャスティス)					
試験方法	小テーマ①②をまとめて小テーマ②の最後に、小テーマ③④をまとめて小テーマ④の最後に20分程度の試験を行う					
成績評価の方法・基準等	試験の成績で判断する。(25点×4テーマ=100点満点) 評価基準は、総合点で60点以上を合格とする。					